

クリエイター・アーティスト等育成支援事業 舞台芸術分野 一般社団法人緊急事態舞台芸術ネットワーク：SOIL



目的 目標

【目的】プロデューサーの育成を通じて、日本の舞台芸術コンテンツにおける海外戦略の「新たな土壌」（=SOIL）を構築する。
 【目標】選定作品を中心にノウハウ提供と海外現地への派遣企画を軸とし、海外展開に向けたプロデューサーのスキル育成する。
 目指す姿：①プレゼンスの向上 ②流通の促進 ③ノウハウの蓄積と業界共有

概要

海外市場への展開を希望するプロデューサーを公募選考のうえ採択し、「育成支援」と「活動支援」の二軸で多面的なサポートを提供。海外現地でのピッチイベント「Japan Selection by SOIL」をエジンバラ/ロンドンの2都市にて実施。

- ① **選考・採択** 海外市場への展開を希望する作品を採択（30件応募／9作品採択）
- ② **渡航サポート** メンターセッション/ピッチ準備/英語研修/制作支援金/渡航費・言語サポート
- ③ **海外派遣** エジンバラ・ロンドンにて「Japan Selection by SOIL」を開催

成果目標

目標値

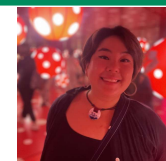
実績値(見込み)

企画段階から海外公演等に登用される若手クリエイター等の数	30人	31人
国内外の団体・企業等との連携数(連携団体数、事業提携数、拠点形成数など)	257件	276件
プロジェクトに関わる海外アーティスト・キュレーター	13人	13人
国内外で展開される公演・展示等の数	15回	16回
国内外で展開される公演・展示等の入場者数	1,000人	1,582人

中核となるアドバイザー

Michelle Rocha | プロデューサー

Manchester Factory International ツアーリング部門責任者。パフォーミングアーツカンパニー『Quarantine』の理事会副議長。前職として、香港の西九文化区管理局でパフォーミングアーツ（音楽およびアウトドア部門）のプロデューサーを務めた。



育成対象者（10人）

- ・野村善文
- ・坂本もも（合同会社範宙遊泳）
- ・高橋戦車（劇団鹿殺し）
- ・田中えみり（ホリプロ）
- ・坂田厚子（イクウメ）
- ・ウォーリー木下（株式会社キューブ）
- ・篠崎勇己（TBSテレビ）
- ・高本彩恵（劇団あはひ）
- ・風呂奈津美（東宝）
- ・松井真人（劇団あおきりみかん）

令和6年度実績

事業設計・組織体制構築フェーズ（2024年度）

- ◆ SOIL事業の全体設計／「Japan Selection by SOIL」の企画立案
- ◆ 海外芸術祭の視察／ Edinburgh Festival Fringe、CINARS
- ◆ 「INTERNATIONAL PRODUCERS' TRAINING」実施／ Manchester International Festivalより招致
- ◆ 関係機関とのネットワーク構築／ブリティッシュ・カウンシル、Fringe Society、エジンバラ日本国総領事館 ほか
- ◆ 育成プログラム設計：メンターセッション／ピッチ準備／英語研修／制作支援金／渡航・言語サポート



令和7年度実績

選考・育成・海外派遣の実行フェーズ（2025年度）

- ◆ 審査会／5カ国審査員による選考を経て9名のプロデューサーを採択
- ◆ 育成プログラム／個別メンターセッション／ピッチ準備／英会話「Pitch Perfect」／渡航前リハーサル ほか
- ◆ 海外派遣「Japan Selection by SOIL」／エジンバラ(8/21・Dance Base)／ロンドン(8/25・Japan House London)
- ◆ 個別海外派遣／ K-Musical Market（韓国）・ISPA（N.Y）
- ◆ 報告会の開催／東京国際フォーラムで実施



SOIL事業について

令和5年度補正予算文化芸術活動基盤強化基金「クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業（クリエイター等育成プロジェクト支援）」の採択を受け、JPASNが主催する企画。プロデューサーの育成を通じて日本の舞台芸術コンテンツにおける海外戦略の「新たな土壌」を構築することを目的とした事業です。選定した作品を中心にノウハウ提供などのサポートや海外現地への派遣企画を軸に、新たな機会を生み出します。



海外展開を目指す作品を海外の業界関係者に紹介をするイベントを海外現地で開催

Japan Selection 実施結果



Japan Selection by SOIL 日本の舞台芸術を世界へ発信する

発表形式	ピッチもしくはデモ形式のパフォーマンス
開催都市	第一回：スコットランド・エジンバラ 第二回：イギリス・ロンドン
第一回詳細	日時：2025年8月21日(木) 10:30 - 12:30 会場：Dance Base
第二回詳細	日程：2025年8月25日(月・祝) 10:30 - 12:30 会場：Japan House London
参加対象者	主たるイベント参加対象者として下記を設定。 海外の劇場関係者 海外のフェスティバル関係者 諸外国のショーケース担当者
使用言語	日本語・英語 (同時通訳あり)



1. 海外派遣プログラムについて

エディンバラについて



世界最大規模の舞台芸術の祭典:多種多様なジャンルが世界中から集う3週間

特徴 1. 世界最大規模の演劇祭

3,535もの団体によるプログラムが開催。公演数は52,000回を超え、1日2,000を超える公演数が実施された計算となるが、これは、アヴィニョン演劇祭（約1,400団体）やシドニー・フェスティバル（約1,000団体）などの他の主要な演劇祭と比べて最大級規模である。



特徴 2. 世界中から集まる観客

約43万人（チケット販売数：240万枚）の来場者観客が訪問（2019年）
チケットの券売数では、オリンピックとワールドカップに次いで多いイベントである。



特徴 3. 誰でも参加可能なオープンアクセス方式

誰でも自由に公演を企画・運営することを許容することで、さまざまなジャンル・キャリアステージにいる団体や個人が行うプログラムが多数開催され、フェスティバルのプログラムの多様性が担保されている。



エジンバラについて

舞台芸術の国際見本市としてのフェスティバル 諸外国の文化発信企画の取り組み

2023年は1,395名の業界関係者が50の国より参加。特徴として諸外国による自国のコンテンツを選定し発表するショーケースシリーズも開催され、13カ国の独自プログラムシリーズが開催された。

TAIWAN SEASON (台湾)

2014年から開催。ダンスや人形劇など非言語作品のラインナップを展開し、2023年は4つの異なる作品を異なる会場で展開し、累計30を超えるグループを派遣。2023年には10周年を記念したシンポジウムも開催した。



#DANISH (デンマーク)

2022年から開催、昨年は2年目の開催となった。実験的作品から現代演劇の作品まで7作品の公演を開催。特にアメリカの大規模な陸開拓を扱ったDark Noonは現地で非常に高い評価を受け話題を呼んだ。デンマーク芸術財団の支援による。



KOREAN SHOWCASE (韓国)

2016年から開催。過去開催したものも含めると25回ほどエジンバラで企画を実施。昨年は7作品の公演を開催した。異なるプログラムを実施。英国との文化交流を目的としたKorean Cultural Centre UK (KCCUK) が主催。



クリエイター・アーティスト等育成支援事業 舞台芸術分野
一般社団法人緊急事態舞台芸術ネットワーク : SOIL

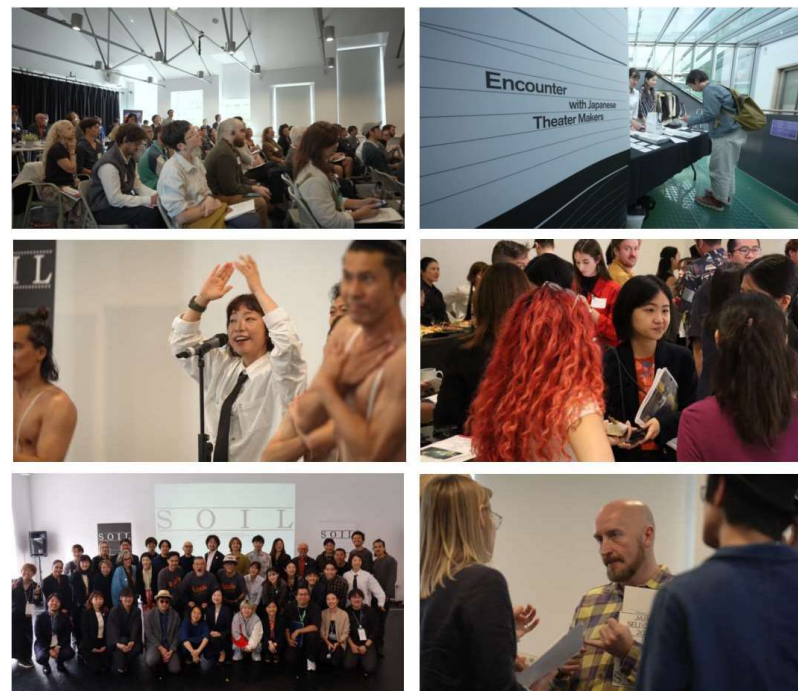


Japan Selection 実施結果



フェスティバル関係者や劇場プロデューサーが参加。
 今後の展開に繋がる確かな一歩に。

発表 作品数	9作品	
	派遣者数 18名	
総来場者数	69名 事前登録者 91名	<p>【エジンバラ】 参加者数：45名 (国数：7カ国 歩留まり64% 飛び入り参加：18名)</p> <p>【ロンドン】 参加者数：24名 (国数：3カ国 歩留まり68% 飛び入り参加：1名)</p>
満足度	4.6 / 5.0 エジンバラ：4.78 ロンドン：4.38	<p>接触意向：「今後、この作品・カンパニーとつながりたいと思いますか？」 → 93件 (14名)</p> <p>作品ポテンシャル：「この作品はあなたの国や地域で成功し、観客の共感を得られると思いますか？」 → 80件 (17名)</p>



特徴②：ピッチイベント

海外で一般的なピッチイベント形式で、全体の規格を構成。

1

ピッチ・デモパフォーマンス

作品・団体・個人を知ってもらう発表の場

3分の作品紹介



10分の実演パフォーマンス



2

ネットワーキング

興味・関心層とつながる交流の場



言語サポート手配

派遣者には逐次通訳者が帯同
派遣団9名に対して
バイリンガルスタッフは8名手配



ジャンル分けの実施

来場者のジャンルごとに
色分けを行いスムーズな
ネットワーキングを目指した

特徴③：複数都市開催



2つの都市での開催を通じて
幅広い興味関心層にアプローチを目指した

エジンバラ

世界最大級フェスティバルにて

演劇祭エジンバラ・フェスティバル・フリンジには多くの業界関係者が世界中から集い、その関係者イベントの多くが開催されるDance Baseにて実施。



多国籍

フリンジ

行政

ロンドン

日本文化発信の拠点から世界へ

ロンドンの目抜き通りケンジントンハイストリートに位置するJapan House Londonにて、ロンドンを中心に活動する業関係者への招待制のイベントを実施。



イギリス拠点

民間

中・大規模

SOIL事業について



採択者9名のプロデューサーと9名の帯同者、合計18名の派遣団。
 8月16日(土)から25日(月)の期間、エジンバラ・ロンドンの2都市に滞在。

派遣団 一覧 (※順不同)

- ウォーリー木下 / 角谷将視、濱口啓介※ (キューブ)
 - 坂田厚子 / 前川知大 (イキウメ)
 - 坂本もも / 山本卓卓 (範宙遊泳)
 - 篠崎勇己 / 後藤ひろひと (TBS)
 - 高橋戦車 / 菜月チョビ (劇団鹿殺し)
 - 高本彩恵 / 大塚健太郎 (劇団あはひ)
 - 田中えみり / 篠田麻鼓 / インバル・ピント※ (ホリプロ)
 - 風呂奈津美 / 鈴木隆介 (東宝)
 - 松井真人 / 鹿目由紀 (劇団あおきりみかん)
- ※帯同者1名以上の場合は採択者による手配

エジンバラ							ロンドン		
16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日
Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon
	エジンバラ 現地視察 ツアー				Japan Selection エジンバラ 本番		移動日		Japan Selection ロンドン 本番
		British Council イベント	Japan Selection リハーサル						

SOIL事業について

採択者9名のプロデューサーと9名の帯同者、合計18名の派遣団。
 8月16日(土)から25日(月)の期間、エジンバラ・ロンドンの2都市に滞在。

実施プログラムについて



エジンバラツアー

7つのフェスティバルを統括している現地団体の広報役員のJamesさんによる街歩きツアー。街の様子とプログラムの概要を把握。



British Council Reception

British Councilによる関係者イベントへの参加。業界関係者とのネットワーキングなどを行った。



Japan Selection

業界関係者対象のピッチイベント。本派遣事業のメインプログラム。

エジンバラ							ロンドン		
16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日
Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon
	エジンバラ 現地視察 ツアー				Japan Selection エジンバラ 本番		移動日		Japan Selection ロンドン 本番
		British Council イベント	Japan Selection リハーサル						

派遣プログラム

採択者9名のプロデューサーと9名の帯同者、合計18名の派遣団。
8月16日(土)から25日(月)の期間、エジンバラ・ロンドンの2都市に滞在。

実施プログラムについて



エジンバラツアー

7つのフェスティバルを統括している現地団体の広報役員のJamesさんによる街歩きツアー。街の様子とプログラムの概要を把握。



British Council Reception

British Councilによる関係者イベントへの参加。業界関係者とのネットワーキングなどを行った。

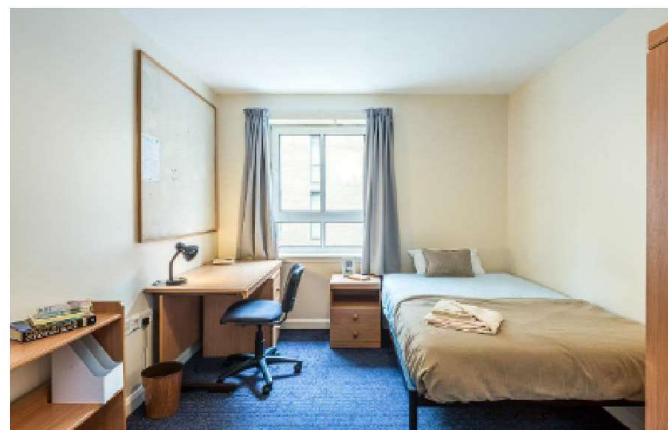


Japan Selection

業界関係者対象のピッチイベント。本派遣事業のメインプログラム。

宿泊地について

4つの個室からなるユニットを5つ手配
共用のリビングとキッチン有



エジンバラ大学 Darrah Court

特徴①作品の多様性

商業劇場から小劇場まで — 表現ジャンル・作品規模・団体規模の垣根を超えて
 5カ国からの審査員による選考で、多様性に富んだ9つの作品とそのプロデューサーを育成対象として選出

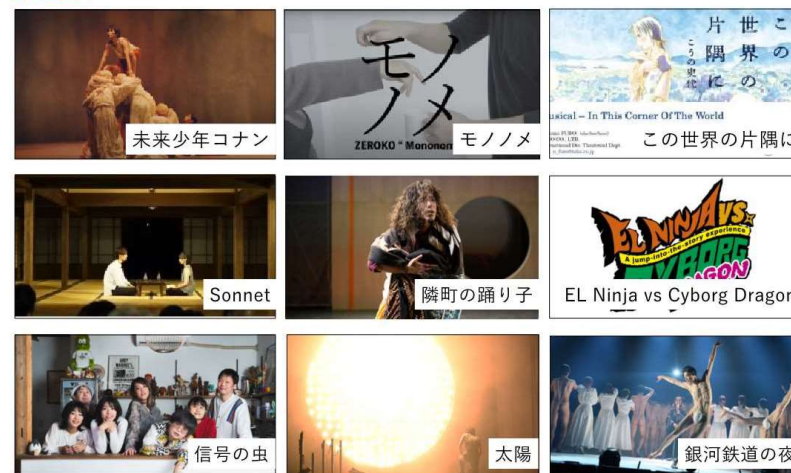


2025年2月10日～21日	期間	2025年2月12日～3月3日
作品、団体、申請者情報	提出内容	申請書 (Word) 作品ピッチ動画 (URL) 補足資料 (PDF)
30件	登録件数	19件
17団体	登録団体	16団体

上記登録作品について、以下5名による審査を実施
 内藤美奈子 (日本・東京芸術劇場)
 副島綾 (フランス・パリ日本文化会館)
 Ric Watts (イギリス・Factory International)
 Tony Mills (スコットランド・Dance Base)
 ウォン・ジョンウォン (韓国・順天郷大学公演映像学科 教授)



- 団体名
 (株) キューブ、株式会社ホリプロ、東宝株式会社、合同会社範宙遊泳、TBSテレビ、劇団あはひ、株式会社オフィス鹿、イキウメ、あおきりみかん
- 作品名



実施施策について



「育成支援」と「活動支援」の二つの軸で
さまざまな施策を実施

育成支援 海外展開に向けたスキルと視点

メンターセッション

採択後、マンチェスター国際フェスティバルのMichelle Rochaによる全体セッションをオンライン実施。海外展開の目的やゴール付けを明確化。その後も個別の有識者とのマッチングを通じて、作品の国際的な位置づけや発信戦略を磨いた。

ピッチ準備

現地での発表内容であるピッチの準備プログラムを実施。オンラインでプレゼンテーションのイロハを共有。その後、日本国内でのリハーサルとして英語話者や有識者、他の派遣者によるピアセッションを実施。

英語研修

「英語力」の強化を目指し、外部講師による全3回の英会話セッションを実施。語学力だけでなく、海外でのネットワーキングで避ける話題など国際交流力なもテーマとして扱った。また、British Councilのオンライン英会話教材も提供。

活動支援 海外展開に向けた環境を整備

制作支援金

採択作品については制作支援金として50万円の助成金を提供。本プログラム採択を受けた申請作品の海外展開において必要な経費を助成した。作品などの翻訳や紹介映像の制作など、幅広く支援。(用途は事務局による審査の上)

渡航費支援

1作品について、育成対象者と合わせて加えて一名帯同者も含む合計2名の渡航・宿泊について支援を行うことで、学びを育成対象者に閉じず、団体内での共有や意識改革を支援。

言語サポート

SOIL実施のプログラムにおいては、メンターセッションや現地ネットワーキングなどで同時・逐次通訳の言語サポートを提供し、言語の壁による機会損失を最小限に抑え、自身の作品や団体の展開に集中できる環境を整備

その他の施策



プロデューサー育成集中講座

Manchester International Festival
チームの招聘。5日間の集中講座で
東京都内で実施



K-musical Marketとの連携

韓国にて開催されるミュージカル作品の
マーケットイベント。2026年の開催の
日本オリジナル作品のピッチ出展・作品
発表に関して事業連携を行なった



YPAM シンポジウム

横浜で開催されるYPAMにて
シンポジウムとしてトークイベントと
現地でのピッチイベントを開催



ISPA New York / Singapore

北米を中心とした国際的なプロデュー
サーネットワークのイベントに参加。海
外業界関係者とのネットワーク深化に努
める。



国内報告会

2025年10月に
東京国際フォーラムにて開催
派遣者による経験と視座を共有

目指すところ

1 プレゼンスの向上

エジンバラ・フェスティバル・フリンジをはじめ、アジア諸国などでの会議でのブース出展やピッチ参加など、海外現地でのアピールの場に積極的に参画することで、海外での日本の演劇文化のプレゼンスの向上を目指す。

業界全体のブランディング

各団体による参加負荷の軽減

審査・評価の洗練

2 流通の促進

派遣作品を中心に作品・団体情報をオンライン管理・公開。作品の多様性を可視化するとともに、国内外の関係者が作品の買い付けや交渉を行う。実際に活用できる共通基盤を構築し、国内外の作品流通を促進する。

海外・国内での流通の促進

EPADなど他事業との連携

業界動向・トレンドの情報収集

3 ノウハウの蓄積と共有

派遣事業の実施や育成プログラムを通じて海外展開に関するノウハウや人脈を形成し、広く業界への知見共有を行うことで、海外展開の障壁を下げることを目指す。

各国際イベントの情報共有

言語サポートや現地パートナー
人脈形成と紹介

クリエイター・アーティスト等育成支援事業 舞台芸術分野
一般社団法人緊急事態舞台芸術ネットワーク：SOIL

